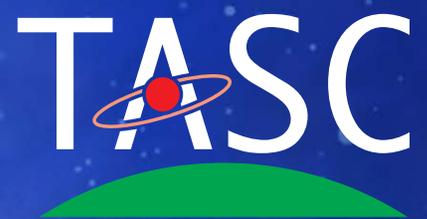


我々の住むこの栃木から大空へ羽ばたいている  
たくさんの夢と情熱を知ってください

# 栃木航空宇宙懇話会



Tochigi  
AeroSpace  
Conference



## TASCの趣旨

皆さん!ご存じですか?

栃木県は、日本有数の航空宇宙研究開発及び産業拠点集積県であることを。人類の夢は「大空と宇宙」に果てしなく広がり、人類の勇気と知恵「大空と宇宙」に挑戦し、あらゆる技術を結集して「航空宇宙」という科学技術分野、産業分野を生み出して参りました。栃木県地域には、すでに航空宇宙関連の素材、部品加工、電子機器、航空機機体、試験装置等の産業が集積しております。そこで、県内の航空宇宙関連諸活動のさらなる発展と地域産業への波及を図るべく、平成9年7月14日に栃木航空宇宙懇話会が設立されました。



## TASCの事業理念

1. 栃木航空宇宙懇話会は、上述の目的を達成するために、以下の事業を推進致します。
  - a. 栃木県地域における航空宇宙関連諸活動の情報の収集及び提供
  - b. 栃木県地域における航空宇宙産業に関する技術と他産業技術とを相互に波及させるための研究交流の促進
  - c. 航空宇宙関連技術の地域住民、地域産業への普及・啓発
  - d. 栃木県地域における航空宇宙産業等に関する内外機関等との交流及び協力
  - e. その他、本会の目的を達成するために必要な事業

## TASCへのご入会

平成27年度より、正会員・特別会員の法人、団体等を退職、あるいは離任した方でも、本会の目的に賛同し、当該法人・団体等の一員とみなしたうえでTASC活動への参加をご希望される場合は、本人が直接事務局へその旨申請することで、本会の活動に参加することができるようになりました。

TASCにご入会頂きますと、研修会、見学会等の活動にご参加頂くことが出来、イベント後の懇親会への参加など、航空宇宙関係の関連機関や会社、大学等、産・学・官の方々との交流も可能です。

また、WEBページにて過去の研修会の資料や講演動画の視聴も可能となります。ぜひご入会下さい。

会員様限定コンテンツとして、オンライン月例研修会の講演資料(抜粋版)の閲覧及び講演動画のアーカイブ視聴ができます。

※会員企業様所属の社員の方も会員として会員限定ページの閲覧が可能です。

## 会員の種類と年会費につきまして

- |       |           |                            |
|-------|-----------|----------------------------|
| ■正会員  | 年会費 一口2万円 | 資格 法人・団体など                 |
| ■賛助会員 | 年会費 一口5千円 | 資格 個人                      |
| ■特別会員 |           | 資格 TASCと関連のある教育・学術期間、公的機関等 |

## 入会ご連絡・お問い合わせ先

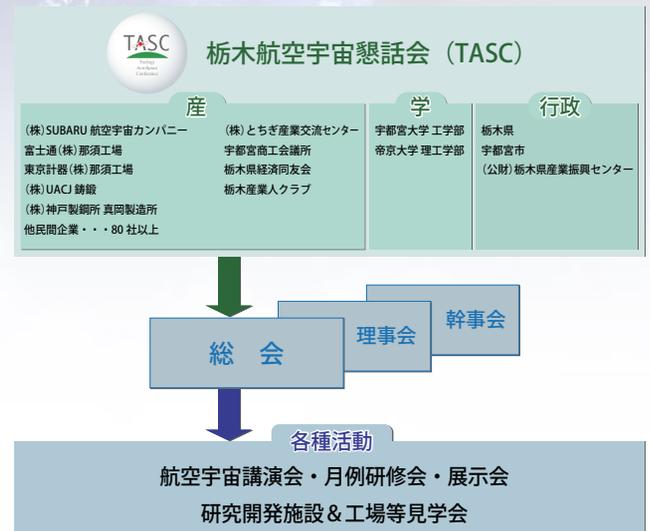
入会ご希望のご連絡、各種お問い合わせにつきましては、裏表紙記載のお問い合わせ先をご利用下さい。

## TASCの概要

皆さん、ようこそ!

"TASC"とは栃木航空宇宙懇話会のこと。我が国有数の航空宇宙産業の集積地である栃木県の、産・学・行政の交流を目指した組織です。

平成9年7月の設立以来、既に栃木県に拠点のある約90団体の参加を頂き、数々の行事を企画、開催し、会員間の交流を促進しております。



## 主な活動

- 航空宇宙講演会(年1回)
- 月例研修会(年4~5回)
- 展示会参加(適宜)
- 見学会(年1回)

## 栃木航空宇宙振興協議会との連携活動

栃木航空宇宙懇話会は、栃木県が主催する栃木航空宇宙産業振興協議会と密接な関係を保ち、産学官の連携の元で、航空宇宙関連の諸活動を行っております。



航空宇宙に係る著名な先生方を講師にお招きし、  
広く一般住民や地域産業関係者への普及・啓発を図っています。

2023

# 航空宇宙講演会 in Tochigi 2023

有人宇宙活動の現状と展望 ～ISSから国際宇宙探査へ～

令和5年12月13日(水) 18:00～19:30

・会場参加： 宇都宮市文化会館 小ホール

・オンライン視聴： Zoomにて同時開催

講師：

宇宙航空研究開発機構 特別参与・宇宙飛行士(当時)

若田 光一 (わかた こういち) 氏

今年の『航空宇宙講演会 in Tochigi 2023』は、日本人で初めてのISS船長で、宇宙滞在日本人最長記録を保持している若田光一宇宙飛行士に、実際の宇宙で感じられたことや経験されたことなどを始めとし、宇宙の素晴らしさや将来の宇宙科学研究、宇宙開発・利用についての展望をご講演いただきました。当日は会場参加475名、オンライン参加260名の大盛況となり、講演も充実した内容の講演を頂きました。質疑応答の場面では若田氏自ら観客席まで降りてきてくださり、質問者との距離感も近くで質疑にお答え下さりました。多数の質問を頂きましたが、時間の都合もあり全ての質問にはお答え頂くことは出来ませんでした。が、充実した内容となりました。



使用写真提供：JAXA/NASA



## ■若田 光一氏 略歴

若田 光一(わかた こういち)

1963年埼玉県生まれ。

1996年、STS-72に日本人初のスペースシャトル・ミッションスペシャリスト(MS)として搭乗。

2000年、STS-92にMSとして搭乗し、日本人として初めて国際宇宙ステーション(ISS)建設に参加。

2009年、STS-119/STS-127およびISS第18次/第19次/第20次長期滞在のクルーとして日本人初のISS長期滞在を実施。

2013年11月から2014年5月にかけて、ソユーズTMA-11MおよびISS第38次/第39次長期滞在のクルーとしてISSに188日間滞在中、その後半の第39次長期滞在では日本人初のISS船長として、クルーの指揮をとった。

2022年10月から2023年3月にかけて、スペースX Crew-5およびISS第68次長期滞在のクルーとしてISSに155日間滞在中。

滞在中、船外活動を2回、計14時間2分を行い、2030年までのISS運用延長に不可欠な、新型太陽電池アレイ(ISS Roll-Out Solar Array: IROSA)を設置するための架台取り付けを実施するなど、ISSのアップグレードに貢献した。

5回の宇宙飛行における宇宙滞在時間は累計で504日18時間35分となり、日本人最長記録を更新。

2023年時点で現役宇宙飛行士として活動期間は31年を超え、世界最長。

2024年3月 宇宙航空研究開発機構を退職



提供：JAXA/NASA/Bill Stafford

# 2022

## 航空宇宙講演会 in Tochigi 2022 ブルーインパルスへの道 ～チームワークの大切さ～

令和4年12月12日(月)18時～20時

・会場参加:

宇都宮市文化会館 小ホール

・オンライン視聴:

Zoomにて同時開催

講師:

航空自衛隊

元ブルーインパルス隊長 1等空佐

稲留 仁 (いなだめ ひとし) 氏

ブルーインパルスは航空自衛隊唯一のアクロバットチームです。各地で行われる航空祭やイベントなどで展示飛行を行っています。昨年の東京オリンピックでの展示飛行、今年のいちご一会とちぎ国体での展示飛行は記憶に新しいのではないのでしょうか。講演では、ブルーインパルスの活動などを紹介しつつ、パイロットになるための道のり、展示飛行を成功させるための秘訣、成功に導くためのチーム作りについてお話し頂きました。



# 2021

## 航空宇宙講演会 in Tochigi 2021 人類が初めて見たブラックホールの姿

令和3年12月13日(月)18時～20時

・会場参加: 宇都宮市文化会館 小ホール

・オンライン視聴: Zoomにて同時開催

講師: 国立天文台 教授 水沢VLBI観測所 所長

本間 希樹 (ほんま まれき) 氏



# 2020

## 航空宇宙講演会 in Tochigi 2020 online ホンダジェット、世界一への挑戦 ～一枚のスケッチから事業化まで～

令和3年2月27日(土) オンライン (Zoom ビデオウェビナー使用)

Honda Aircraft Company 社長兼CEO

藤野 道格 (ふじの みちまさ) 氏



# 2019

## 航空宇宙講演会 in Tochigi 2019 はやぶさ2の挑戦 -プロジェクトを率いる難しさ面白さ-

令和元年12月11日(水)

宇都宮市文化会館

はやぶさ2プロジェクトマネージャー

JAXA宇宙科学研究所

宇宙飛行工学研究系 准教授

津田 雄一 氏



# ～2018

2018 ボーイング社と日本のパートナーシップ、航空機産業を取り巻くビジネス環境とその未来について ボーイング・ジャパン 社長 プレット C ゲリー 氏

2017 宇宙生命は存在するか? 一天文学からのアプローチ 自然科学研究機構 国立天文台 副台長 教授 総合研究大学院大学教授 理学博士 渡部 潤一 氏



TASC会員を対象に、航空宇宙に係る最新の技術情報やビジネス動向に詳しい先生方をお招きして、研修会を行っております。

■第123回月例研修会

令和6年2月20日(火) 会場参加：(株)SUBARU研修施設 弥生荘 オンライン：Zoom Webinar  
 講師：一般財団法人 日本航空機開発協会 企画調査部 部長 原田 淳 (はらだ あつし) 様  
 テーマ：『民間航空機に関する市場予測 2023-2042』



■第122回月例研修会

令和5年11月7日(火) 会場参加：(株)SUBARU研修施設 弥生荘 オンライン：Zoom Webinar使用  
 講師：会津大学コンピュータ理工学部 教授 大竹 真紀子 (おおたけ まきこ) 様  
 テーマ：『会津大学で検討中の「月火星箱庭構想」で目指す極限ロボット開発拠点』



■令和5(2023年)年度とちぎ空飛ぶクルマ開発セミナー/第121回月例研修会

令和5年10月12日(木) オンライン【Zoom Webinar使用】 参加人数：オンライン 181名

・講演1 講師：JCAB 安全部 無人航空機安全課 課長補佐 保坂 達也 (ほさか たつや) 様  
 ・テーマ：『空飛ぶクルマの実現に向けた制度整備の検討状況』



・講演2 講師：NEDO ロボット・AI部 主査 プロジェクトマネージャ 森 理人 (もり まさと) 様  
 ・テーマ：『空飛ぶクルマの市場・技術動向及びReAMo プロジェクトについて』



■第120回月例研修会

令和5年7月6日(木) 会場参加：(株)SUBARU研修施設 弥生荘 オンライン：【Zoom Webinar使用】  
 講師：帝京大学医療共通教育研究センター 准教授 山崎 丘 (やまざき たかし) 様  
 テーマ：『宇宙で暮らすとどうなるか ～宇宙実験から明らかになった身体の変化～』



県内外の著名な研究施設・工場等の見学会を行っております。

■令和5年度見学会：空飛ぶクルマ開発促進研究会 実機見学会  
 県及びとちぎ航空宇宙産業振興協議会では、「空飛ぶクルマ」において必要とされる部品や技術要素等を企業等の皆様に肌で感じていただけるよう、空飛ぶクルマ実機等を見学いただく「実機見学会」を栃木県・とちぎ航空宇宙産業振興協議会・栃木航空宇宙懇話会の共同で開催いたしました。見学会におきましては、栃木県見学会参加者特別企画として、空飛ぶクルマ(Mk-5)実機見学及びテトラ・アビエーション株式会社(令和4年度開催：第1回とちぎ空飛ぶクルマ開発セミナー/第117回月例研修会にて講演頂いております)との意見交換等が行われました。



- 日時： 令和5(2023)年11月22日(水)
- 見学先： ロボット・航空宇宙フェスタふくしま2023
- 会場： ビッグパレットふくしま(福島県郡山市南二丁目52番地)
- 見学会内容：

■「ロボット・航空宇宙フェスタふくしま2023」見学

■【栃木県見学会参加者特別企画】

テトラ・アビエーション株式会社様との意見交換等

・空飛ぶクルマ(Mk-5)実機見学

・同社との意見交換

●主催： 栃木県・とちぎ航空宇宙産業振興協議会・栃木航空宇宙懇話会

●参加者数 27名





## 栃木航空宇宙懇話会

栃木県宇都宮市陽南1-1-11  
(株)SUBARU 航空宇宙カンパニー 総務部内

各種お問い合わせ／入会申し込みは  
下記事務局宛各種方法にてご連絡下さい

〒320-8564 栃木県宇都宮市陽南1-1-11  
栃木航空宇宙懇話会事務局  
TEL028-684-7925 FAX028-684-7926  
HP:<http://www.tasc-tochigi.com>  
Mail:[info@tasc-tochigi.com](mailto:info@tasc-tochigi.com)

ホームページアクセスは、下のQRコードを読み込んでアクセスできます。

HP:<http://www.tasc-tochigi.com>

